



例題 1

次の計算をなさい。

$$12 \times 2 + 12 \times 8$$

答え 120

[例題 1 の解説]

12が2個と12が8個だから、あわせて12が10個です。

$$12 \times 2 + 12 \times 8 = 12 \times (2 + 8) = 12 \times 10 = 120$$

※アドバイス

12のように同じものをリンゴだと考えたとわかりやすくなります。(リンゴが2個)+(リンゴが8個)=(リンゴが10個)

※アドバイス

例題 1 のように12でまとめることができる計算のきまりを「ぶんぱいほうそく分配法則」と言います。

$$\blacksquare \times \bullet + \blacksquare \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet + \blacktriangle)$$

$$\blacksquare \times \bullet - \blacksquare \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet - \blacktriangle)$$

例題 2

次の計算をなさい。

$$25 \times 18 - 25 \times 15$$

答え 75

[例題 2 の解説]

25が18個から25が15個をひくと、25が3個です。

$$25 \times 18 - 25 \times 15 = 25 \times (18 - 15) = 25 \times 3 = 75$$

※アドバイス

25をリンゴだと考えたとわかりやすくなります。(リンゴが18個)-(リンゴが15個)=(リンゴが3個)



例題3

次の計算をなさい。

$$8 \times 109$$

答え 872

[例題3の解説]

109を $100+9$ とします。

$$8 \times 109 = 8 \times (100 + 9) = 8 \times 100 + 8 \times 9 = 800 + 72 = 872$$

※アドバイス

ぶんぱいほうそく
分配法則を利用しています。 $\blacksquare \times \bullet + \blacksquare \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet + \blacktriangle)$

例題4

次の計算をなさい。

$$15 \times 98$$

答え 1470

[例題4の解説]

98を $100-2$ とします。

$$15 \times 98 = 15 \times (100 - 2) = 15 \times 100 - 15 \times 2 = 1500 - 30 = 1470$$

※アドバイス

ぶんぱいほうそく
分配法則を利用しています。 $\blacksquare \times \bullet - \blacksquare \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet - \blacktriangle)$

ポイントまとめ

- ・計算式の中に同じものがあれば^{かっこ}()でまとめて計算しましょう。
- ・ $\bigcirc \times 99$ や $\bigcirc \times 104$ であれば、 $99 = 100 - 1$ 、 $100 + 4$ と考えて分配法則を利用しましょう。